

草加市倫理法人会 モーニングセミナー報告(7月)

(会場) 埼玉屋旅館

草加市高砂1-10-13 048-922-4141

7月3日(木) 第858回

講師: 山本まさの氏

越谷市議会議員

テーマ: 「父母に感謝」



愛媛県愛南町生まれで三姉妹の次女として誕生。大学は第一志望に行けず、文教大学に進学した。新田中学で教育実習の時に夫と出会う。郷里で親と暮らす予定でいたため結婚を躊躇したが夫が学習院出と聞き、天皇家と同じなら間違いないと両親も大賛成。郷里で親と暮らすことは出来なかったが両親に感謝です。大好きな父も八十一歳で他界。体が弱く力仕事が出来ない父は人の良い所人を褒める、そんな人でした。夫の父は明治生まれ母は大正生まれ、頑固な義父は何でも私を呼びつけ用を言いつける。辛くて家出したこともあるが最後は両親の介護を小学四年生だった娘が助けてくれて、義母とは実の親子のようになれました。自分の生涯において父母に感謝する事が多かった人生です。



太田 功記

7月10日(木) 第859回

講師: 早川 純一氏

草加市倫理法人会 事務長

テーマ: 「倫理を学んで」



倫理を学んで五年が経過した。当時、いろいろな組織に入っていたが、誰からも倫理には誘ってもらえず、空龍の前島さんから「神田きりりさんの講話があるから来てください」と誘われ参加。その時のJ.C先輩、丸山氏の対応や平塚会長のハガキ、来店などの好意に入会を決める。入会し幹事になり、森会長時代には森氏の「夜の帝王から朝の帝王に大変身した姿」に倫理の凄さを体感。岡田会長時代にモーニングセミナー委員長を拝命し「斬新な?朝の挨拶」をしたところ「マニュアルに反する」とお叱りを受けマニュアルの再チェックを通して倫理の深さを認識した。現木村会長の下では事務長を拝命、様々な倫理活動に参加する機会を得て、倫理の深さを実感している。この五年間の倫理への取り組みにより私なりに倫理は見えた。それは「私にとってなかなかできないこととしたこと」である。

高橋 茂行 記

7月17日(木) 第860回

講師: 木下 博信氏

Office RYE 代表

テーマ: 「「今」を大切に」



前草加市長在職中、自分は周りの人の話を聞いていなかったことに気づいた。現在、草加市内にある四つの駅前立ち、始発から終電までたくさん人の話を聴いている。そのことに集中していると時間はあっという間に過ぎていく。二〇一三年、モンゴルゴビデザートマラソンに参加した時のこと。実は自分は歩くのが大嫌いで十分程度の道程でも車で行くほどだった。そんな自分が六日間二五〇キロを完走した。景色の変化のない大草原でも「今の景色を楽しんで一歩前へ」と心の中で思うと同じ景色と想っていたが少しづつ違うことに気付く。一日が終わると筋肉痛で動けない。しかし次の日は不思議と走れる。一歩一歩「今」を感じて、「今」に感謝して完走できた。今、駅前でも多くの人の話を聴くといういろいろな可能性に気づいてどうやって実現させようかワクワクしてくる。「今」を大切に楽しんでいる。

池田 成希 記

7月24日(木) 第861回

講師: 山田 長司氏

(一社)倫理研究所 法人スーパーバイザー

テーマ: 「葉にはビジネスのヒントあり」



葉は自分の心境を表したり、気づきを与えてくれる。お金を大切に実践をした。財布のなかにお札を和紙に包んで入れてみた。財布も表財布にしお札を大切にされた。「私の所に来てくれてありがとう、ゆっくり休んで下さい」と話かけてみた。いつもよりお金が入るようになった。また、ある時右腕ばかりケガをするようになった。倫理指導を受けると「人生の右腕である妻に感謝の気持ちがかけている」と言われ気付く。早速実践、全ての決め事に妻の意見を聴いた。不動産の買い付けの時それを実践して大成功。会社の社是を決める時、葉の「働きは最上の喜び」をヒントに作成した。「磨け、磨け、自分を磨け、仕事を通して自分を磨け」。家事代行業の会社は軌道にのり大繁盛である。

風間 利高 記

7月31日(木) 第862回

講師: 日向 俊夫

埼玉県倫理法人会 後継者倫理塾長

テーマ: 「後継者倫理塾」



倫理法人会に入会した当初は若い人を教えるなんて想像もしていませんでした。塾長という立場で若い人を教えるのは大変うれいことです。中国には「鳥は空気が見えない、魚は水が見えない、人間は自分が見えない。」ということわざがあります。自分が存在している環境に対する自覚のなさを例えたものですが、塾生に初めに知ってもらいたいのは、周りの環境を含めた自分自身の事です。後継者倫理塾では「自信」「自己効力感」やればできるという気持ち「育てるために、①成功体験②代理体験③言語的説得④明るい場づくり⑤人の話をよく聞く、以上の事を学んでいます。人は誰でも幸せになりたいものです。幸福条件は「人にかかわる事」「人の役に立つ事」「過去に囚われずに今ここに意識を集中させる事」「人生は八十年間の旅行。毎日旅行を楽しむように過ごしてほしい」と思っています。

大谷 光徳 記